

在コルカタ日本国総領事館管内安全対策情報
令和4年度第2四半期（令和4年7月～9月）

1 社会・治安情勢

当館が管轄する西ベンガル州、ビハール州、オディシャ州、ジャールカンド州においては、これまで、極左武装勢力マオイストの脅威が存在してきたほか、国政与党BJPと西ベンガル州政与党AITC間での衝突・抗争等により、死傷者を出す事件が発生しています。

今期は、主に以下の事案が発生しました（当地紙報道による）。

【7月】

- 3日、西ベンガル州コルカタ市内で、厳重な警備体制が敷かれているママタ・バナジ―西ベンガル州首相宅敷地内に男が侵入し、警察に逮捕されました。
- 12日、西ベンガル州 Howrah で、高齢女性が自宅前の道路に垂れ下がっていた電線を踏み、感電死しました。
- 13日、西ベンガル州コルカタ市内で、送迎のための車の駐車位置をめぐるトラブルから2人の男性が口論となり、一方の男性がもう一方の男性をナイフで切りつけました。
- 14日、ジャールカンド州 Jamshedpur で、インド軍採用計画（アグニパト計画）に反対して、6月17日にローカル列車の運行を妨害したなどとして、8人が逮捕されました。
- 14日、西ベンガル州コルカタ市内 New Town で、散歩途中の女性が、後ろから近づいてきたオートバイの男にネックレスを引たくられました。
- 16日、ビハール州 Gaya で、タバコの箱に入った粗製爆弾を小学生が触ったところ、爆発し、重傷を負いました。
- 17日、オディシャ州 Gajapati の丘陵地帯で、集中豪雨のために地滑りが発生しました。
- 18日、ビハール州 Siwan の Baba Mahendra Nath 寺院で、多数の参拝客が押し寄せて将棋倒しが発生し、2人が死亡、少なくとも2人が負傷しました。
- 27日、ビハール州の8地区で、落雷が発生し、8名が死亡しました。同州では今年これまで少なくとも181人が落雷で死亡しています。
- 27日、西ベンガル州 Murshidabad のマンゴー果樹園で、21個の粗製爆弾が押収され2人が逮捕されました。同地区は、政党派閥と地元のギャングの政治抗争で、粗製爆弾を使用する事案が発生しています。

【8月】

- 4日、ジャールカンド州 East Singhbhum で、警察はバイクの窃盗を繰り返していた男5人を逮捕し、盗まれたバイク78台を押収しました。

- 6日、西ベンガル州コルカタ市内で、インド博物館の警備にあたっていた武装警察官が休暇取得を巡るトラブルから同僚に向けて自動小銃を発砲し、1名が死亡1名が負傷しました。
- 10日、ジャールカンド州 Ranchi で、ビルサ・ムンダ空港を爆破すると脅迫して、現金を脅し取ろうとしていた男ら3人が逮捕されました。
- 10日、ビハール州 Patna で、武装した強盗 14 名が、開店前の自動車ショールームに侵入し、警備員1名を刺殺、3名にケガを負わせ、20万ルピーを奪って逃走する事件が発生しました。
- 10日、西ベンガル州コルカタ市内で、関係当局の許可なくビクトリア記念館とその周辺地域の写真を撮影するためにドローンを使用した疑いで男性2名が逮捕されました。
- 12日、西ベンガル州 Salt Lake で、無人の銀行 ATM 機を、強奪しようとして男性が逮捕されました。
- 17日、ビハール州 Banka で、偽の警察署を開設し、人々から現金をだまし取っていたとして、男女7名を逮捕されました。
- 19日、オディシャ州 Nuapada で、マオイストは 30 代の村人を警察の情報提供者であると疑い射殺しました。
- 28日、西ベンガル州 Nadia で、汚染された水道水を飲んだ 12 歳の少年が死亡、50人以上が下痢などの体調不良を訴えました。

【9月】

- 6日、西ベンガル州コルカタ市内で、8月から行方不明になっていた2人の少年が道路脇の側溝から遺体で発見されました。被疑者は被害者らから借金をしており、返済を巡ってトラブルがあったとのこと。
- 13日、西ベンガル州コルカタ市内で、国政与党 BJP の党员らが、州政府与党 ITAC が様々な汚職問題に関与しているとして、州政府事務所に向かってデモ行進を行ったが、それを阻止しようとした警察官との間で衝突が発生し、付近一帯は5時間以上にわたって交通がまひしました。
- 17日、西ベンガル州 North 24 Paraganas で、学校の屋上で何者かが投げた粗製爆弾が爆発しましたが、けが人はでませんでした。
- 18日、オディシャ州 Malakangiri で、約 700 人のマオイスト支持者らが警察に投降しました。
- 20日、ビハール州各地で落雷が発生し、11人が死亡しました。
- 29日、西ベンガル州コルカタ市内で、警察は、市内の puja(当地のお祭り)の買い物

客らから 42 台の携帯電話を盗んだとしてジャールカンド州から来ていた男 2 人を逮捕しました。

- 29 日、ビハール州 Bihta で、砂の違法採掘を巡って 2 つのグループがトラブルとなり、けん銃を発砲するなどして 4 人が死亡しました。
- 29 日、ビハール州 Arrah で、BJP 指導者が朝の散歩途中に至近距離から何者かにけん銃で発砲されましたが、一命を取り留めました。
- 30 日、西ベンガル州 North 24 Parganas で、州政府与党 ITAC 指導者の自宅の門に、何者かが爆弾を投げつけました。

2 邦人に係る一般犯罪情勢

令和元年度においては、邦人の旅行者をターゲットにした事件が複数件発生しました。令和 2 年度及び令和 3 年度においては、インド政府及び各州政府によるロックダウンのため、邦人の旅行者数や在留邦人の外出の機会が減少しており、邦人の一般犯罪被害は減少しました

令和 4 年 7 月から 9 月にかけても、当館では当館管轄地内における邦人の一般犯罪被害情報には接していません。

しかし、これは、犯罪が根絶された訳ではなく、市中で邦人が加害者に遭遇する機会が減少したことによるものであり、加害者は隙があるターゲットを常に探しています。

上記「1 社会・治安情勢」に記載のように、当地報道によれば、各州において強盗事件が発生しています。各州において行動制限が大幅に緩和されたことにより、各地で犯罪も増加している模様です。

強盗だけではなく、旅行者に対して、声をかけてくる人物にも最大限用心し、不審な誘いや要求があった場合、断るか、それには応じず速やかにその場を離れる等といった対応も必要です。

たとえ、声をかけてきた人物と一緒にいる間、親切的な振る舞いであつたとしても、相手は巧みにだましてきている可能性があります。相手の突然の要求に不審を抱きながらも、これまでの経緯から信用した結果、被害に遭ってしまった事案がほとんどです。犯罪に巻き込まれないためには、常に細心の注意をはらい、相手の言動に不審な点が認められた場合は、問題がないと判断されるまで従わないように心がけてください。

当地では、親しくなったと思った頃に、信用したインド人から高額な保証金の支払いを要求されたり、預けた貴重品を持ち逃げたりされるなど邦人の被害が多く発生しておりますので、引き続き御注意ください。

(1) 殺人

邦人被害の事件には接していません。

(2) 強盗

邦人被害の事件には接していません。

(3) 強姦

邦人被害の事件には接していません。

(4) 詐欺・ぼったくり等

邦人被害の事件には接していません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

邦人被害の事件には接していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事案には接していません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業がターゲットにされた事案及び関連情報はありません。

6 その他

インド国内では、道路上にも電線が垂れ下がっているなどしています。これら電線や電柱に触れて、感電死する事案も引き続き多数報告されています。当地は、雨期になると、強風の影響などで切れた電線が道路上にまで伸びていることが多く見受けられますので、無理に撤去しようとするなど不用意に電柱や電線に触れない様に御注意ください。
(了)